

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>ただいまから、平成28年度第1回入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を開会いたします。</p>
田代参事	<p>それでは、大杉会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>大杉会長お願いいたします。</p>
大杉会長	<p>(挨拶)</p>
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>議長につきましては、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第1項の規定で、会長が会議の議長となる旨が定められておりますので、大杉会長に議長として以後の進行をお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、8人です。よって、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第2項の規定により、会議は成立しております。</p> <p>なお、小林委員、川名委員、大垣委員から欠席の届出をいただいております。</p> <p>本日の議題は、5点ございます。1点目は「地域包括支援センターの</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>運営状況について」、2点目が「西武地区地域包括支援センターの職員配置について」、3点目が「地域密着型サービス事業者選定について」、4点目が「地域密着型通所介護事業所への移行について」、5点目が、「その他」となります。</p> <p>はじめに、「(1) 地域包括支援センターの運営状況について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
下村主幹	(資料 No. 1 地域包括支援センターの運営状況について 説明)
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域包括支援センターの事業報告を通して、人口は減少しているが高齢化がますます進んでいることがよくわかりました。権利擁護業務の虐待相談が前年比141.2%と増加している背景に、「虐待の認識が浸透して、今まで隠れていたものが顕在化してきたことがあげられる。」との話がありました。しかし、まだ潜在化していることもあると思います。今後も相談支援業務の強化を図っていてもらいたいと思います。委員の皆様においては地域で活動されている方も多くいらっしゃいますが、何かご質問・感想等ありますでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>権利擁護業務において困難事例が減少しているとの報告がありましたが、相談者の内訳に民生委員も入っており、民生委員や自治会の早期発見により困難事例になる前に対応できているならば喜ばしいことでもあります。地域住民の意識の高まっている表れであれば良いと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。西武地区地域包括支援センターが西武公民館内に移転したとの報告もありましたが、前からの要望であったし実現</p>

発 言 者	発 言 内 容
松本委員	<p>できてよかったと思います。来所の方が増えているのは、利便性のほか、公的な施設にあるほうが守秘義務も守られて安心して相談できることもあるのかもしれません。この件に関して、ご意見はございますか？</p> <p>西武地区地域包括支援センターの事業報告のうち、相談者の区分で「医療機関」からの相談が58件。医師会の在宅医療支援センターの末利氏に会った時に、「相談が少ない」と話していたので、地域包括支援センターの方に相談が流れて、在宅医療支援センターが十分活用されていない可能性もあるのではと思いました。</p>
議長(大杉会長)	<p>この件について、事務局はどう考えていますか？</p>
下村主幹	<p>58件のすべてが在宅医療支援センターでも対応可能な相談であったか内容はわかりませんが、在宅医療支援センターとは連携を深め、相談のすみわけについて、今後時間をかけて検証してまいります。</p>
議長(大杉会長)	<p>地域包括支援センターの認知度が上がり、相談が増えていくことはいいことだと思います。地域包括支援センターではいろいろな講座を開催していたりするので、そういう活動が認知度を上げていると思います。ほかにご質問・ご意見は無いようなので、次に「(2) 西武地区地域包括支援センターの職員配置について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
下村主幹	<p>(資料 No. 2-1 2-2 2-3 西武地区地域包括支援センターの職員配置について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名委員	<p>事務局から、「平成28年度中に西武地区の第1号被保険者が6,000人以上となる見込みで、入間市の条例ではおおむね3,000人から6,000人未満ごとに地域包括支援センターを置くべきと定められている。しかし、6,000人以上の地域包括支援センターも他市には数多くあり、新たに地域包括支援センターを設置するのではなく、職員1名の増員で現時点では対処したいと考えている。」との話がありました。この件に関して、ご質問・ご意見はございますか？</p> <p>この条例を順守しなければいけないのでしょうか？経過措置的なものはないのですか？</p> <p>各圏域をトータルで考えて、設置や人員配置を考えるなど、柔軟な対応はできないでしょうか？</p>
議長(大杉会長)	事務局は回答をお願いします。
田代参事	<p>資料2-2の2/2ページをご覧ください。「条例第4条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。」とあります。現在の9圏域を10圏域に増やすとすれば、大変な労力・時間がかかることとなります。現場は待ったなしの状況なので、条例第4条を適用し、まずは増員して対応していこうと考えています。</p> <p>近隣の狭山・所沢には、6,000人の数を超えている地域包括支援センターも存在します。また、そういった市は、6,000人以上の規定を定めた条例を持っています。</p>
鈴木委員	事務局の1名増員案が現実的と思われます。ただ、本当に1名の増員でいいのかをよく検証することが必要と考えます。他の福祉計画や民生委員の地区割り等もこの9圏域で考えられており、むやみにこの圏域を

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	崩さず、必要な1名または2名増員で対応するのが得策と考えます。
田代参事	事務局は回答をお願いします。
議長(大杉会長)	<p>内部ではいろいろと検討させていただきました。</p> <p>6,000人を超える際の、対処方法は増員以外に2つ考えられました。一つは、「圏域の数を増やし、地域包括支援センターの数を増やす。」こと。もう一つは「圏域はそのまま、ブランチを置いて対応する。」ことです。ブランチはいわゆる本体の出張所のようなものです。現在の西武地域包括支援センター本体は入間市野田にあるので、仏子に出張所的なものをつくり対応するという方法が考えられました。</p> <p>しかし、西武地区包括支援センターの移転が28年4月と直近で、「安定した運営になるまではしばらく時間がほしい。まずは増員で対応していただきたい。」と運営法人からも話がありました。</p> <p>「では1人増でよいのか？」という問題もありますが、この6,000人が8,000人になることも見据えて、他の地区も含めて検討は進めていきたいと思っています。しかし今回は「一人でも早く増員してほしい。」とう要望に、最低限応えていきたいと考えているので、ご理解いただければと思います。</p>
松本委員	ほかにご意見のある方はいらっしゃいますか？
議長(大杉会長)	資料1の8ページを見ますと、西武地区地域包括支援センターの相談件数は突出して多いわけではなく、西武地区に比べ1,000人近く高齢者人口が少ない豊岡東地区では西武地区よりも相談が多い。予防支援の数が西武地区の方が多くて、三職種（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員）が介護予防事業のプラン作成に時間を取られて三職種本来の仕

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>事ができていないのでは？介護予防プランを作る人を新しく雇ったほうが三職種は自分の業務ができて良いのでは？三職種を採用するつもりか？</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局お願いします。</p>
田代参事	<p>採用は三職種を想定しています。どの職種かは未確定です。3人体制から4人体制なります。資料1の1ページをご覧ください。右下に補助要員の人数が入っています。三職種の業務の負担軽減をするために、入間市独自の委託料の加算制度をもって、補助職員をすべての包括支援センターに2名および1名配置しております。主に予防プランを中心に業務を行っています。三職種を増やすことを提案させていただきましたが、要望あればプラン作成する補助職員を採用することも考えます。</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局案は、三職種のうち1名を増員して対応したいとのことでした。要望があれば補助職員を増やすことも可能との話もありました。</p> <p>圏域を増やさず、条例を改正せず、ひとまず増員して乗り切りるとの事務局案を支持するというので、皆様よろしいですか？</p>
全員	<p>「異議なし。」</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「(3)地域密着型サービス事業者選定について」を議題といたします。事務局は説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>(資料 No. 3-1 No. 3-2 No. 3-3 地域密着型サービス事業者選定について 説明)</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>(高野委員に関しては当事者となるため、途中で退席)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>平成28年7月21日(木)に行われた、「地域密着型サービス事業者選定委員会」の結果について検討いただきたいとのこと。まずは、資料3-1の5-①小規模多機能型居宅介護「株式会社あい」について、皆様のご意見をいただきたい。</p>
鈴木委員	<p>「不可」の項目はありましたか？</p>
岩田主幹	<p>ございません。</p>
春名委員	<p>「株式会社あい」の評価点が375点と出ており、「決定することに支障なし」との表記がありますが、どういう基準ですか？</p>
田代参事	<p>資料3-3にあるとおり、優・良・可・不可を、それぞれ5点・3点・1点・0点で29項目、それを委員5人が評価しています。事前にシュミレーションし、おおむね300点を支障なしのレベルに考えています。375点は優や良がいくつつかないと達しないレベルであり、「決定することに支障がないレベル」と考えています。</p>
議長(大杉会長)	<p>客観的な指標を使い「問題のないレベル」と判断されているので、「株式会社あい」については、「決定することに支障がないレベル」という判断を運営協議会として了承しますか？</p>
全員	<p>「了承します。」</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。ここからは高野議員は当事者ではないので、戻っていただきます。(高野委員 着席)</p> <p>それでは、次に資料3-1の5-②認知症対応型共同生活介護事業所の選定について、皆様からご意見はございますか？</p> <p>1位は421点の「社会福祉法人 杏樹会」、2位は339点の「メディカル・ケア・サービス株式会社」となっています。</p>
全 員	(特に意見なし)
議長(大杉会長)	<p>杏樹会については市内の業者なので、皆様もよく見聞きしていると思いますが、メディカル・ケア・サービス株式会社については、どういう業者さんかよくわからない方も多いと思います。事務局には何か情報はありますか？</p>
岩田主幹	<p>認知症対応型グループホームを多数経営している法人でございまして、経営的にも特に問題のない事業所と認識しています。</p>
議長(大杉会長)	<p>新規に施設を認可するには、事前の調査をされていると思いますが、入所者の見込み人数はどれくらいと見込んでいますか？</p>
田代参事	<p>第6期介護保険事業計画に沿っての公募であり、十分に調査・検討したうえで施設設置等を決定しています。入所見込み人数を具体的な数値でお答えすることはできませんが、ニーズは高いと考え、将来を見据えて設置の計画をたてています。入間市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画をお持ちの方は42ページをご覧ください。認知症対応型グループホームに関しては、平成29年度に1施設増と計画しています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	わかりました。春名委員は計画の策定にもかかわっていたと思いますが、ご意見はございますか？
春名委員	ニーズがあるのであれば、今回の認知症対応型グループホームの設置は進めていくべきと考えます。
議長(大杉会長)	選定委員会の結果を見ると杏樹会さんが上位なので、杏樹会さんに決定することになると思いますが、皆様はどうお考えですか？
水上委員	いただいた資料や説明を聞くと、利用者負担金等も含め、杏樹会さんのほうが利用しやすいと感じます。利用者からの評判も杏樹会さんは高いと感じています。
議長(大杉会長)	鈴木委員もこのような問題は詳しいと思いますが、鈴木委員はどう思いますか？
鈴木委員	利用者負担金に関しては、二事業者ともほぼ変わらない料金であるが、メディカル・ケア・サービス株式会社の敷金20万円は、高齢者で急に用意するのは難しい人も多いのではと感じた。開設後の利用者負担も併せて考えたほうが良い。
田代参事	<p>メディカル・ケア・サービス株式会社に関しては、東町という市街地に建設を予定しており、地域密着型に関しては市街化区域に関しては手薄なので、その点は大いに評価できる場所だと思います。</p> <p>メディカル・ケア・サービス株式会社はオーナー（地主）がいて、運営する会社が賃料（90万円／月）を払って経営する方式です。</p> <p>18人定員の利用料と介護保険収入等で、経営を成り立たすのはかな</p>

発 言 者	発 言 内 容
白井副会長	<p>り難しいと感じています。</p> <p>グループホームで敷金を取るというのは、あまり聞いたことがありません。そういうところで利用者へしわ寄せが行き、負担増になっているのではと考えています。グループホームは初めてかもしれませんが、市内で介護保険事業を長年やってきている杏樹会さんのほうが、経営の安定面からも評価ができると思います。</p> <p>杏樹会は特別養護老人ホームも経営しています。家族は、「万が一の時は特別養護老人ホームに入りやすいのでは」と考えます。そういった意味では杏樹会さんのほうが、望ましいと思います。敷金に関しては、認知症が進んで、壁や設備等を破損した場合の修理代の意味を持ちます。20万円は決して高い金額でないと思います。</p> <p>また、特別養護老人ホームなら、多床室であれば年金8万円程度で居住は可能です。</p>
水上委員	<p>杏樹会は社会福祉法人、メディカル・ケア・サービスは株式会社なので、利用者へ還元されるべきサービスには違いがあるかもしれない。社会福祉法人の方が、利用者へ還元していただけるようなイメージはあります。</p>
議長(大杉会長)	<p>滝澤委員はご意見ありますか？</p>
滝澤委員	<p>認知症グループホームは、かなりお金がかかることに驚きました。</p> <p>価値あるお金の使い方ができる施設を選定していただければと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>今までの皆様のご発言では、「社会福祉法人 杏樹会」の方がよいと</p>

発 言 者	発 言 内 容
全員	<p>いう意見が多いようですが、運営協議会の意見として選定委員会上位でもある「社会福祉法人 杏樹会」を支持するということによろしいでしょうか？</p> <p>「異議なし。」</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、次の議題「(4) 地域密着型通所介護事業所への移行について」に移ります。事務局は説明をお願いします。</p>
粕谷主幹	<p>(資料 No. 4 地域密着型通所介護へ移行した事業所一覧 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>皆様から何かご意見ございますか？</p>
水上委員	<p>住民登録地でのサービスが基本だと思いますが、市外居住の方の利用はいつまで可能でしょうか？</p>
田代参事	<p>この制度は平成28年4月1日からの施行なので、28年3月31日現在利用していることでみなしとして継続利用できる措置がございます。利用が切れたらみなし措置は終了となります。また、市外利用に関しては、その市町村の同意が必要となります。</p>
水上委員	<p>わかりました。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。他にご意見も無いようですので、この議題は終了といたします。それでは4つの議題はすべて終了ということになります。(5) その他は事務局から何かありますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>次回の会議について案内させていただきます。</p> <p>次回、平成28年度第2回は10月中旬～下旬を予定しております。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、本日の全ての議題を終わりましたので、議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
田代参事	<p>大杉会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会のご挨拶を臼井副会長、お願いいたします。</p>
臼井副会長	<p>以上をもちまして、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を閉会とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 _____